

高井 亨

TAKAI, Toru



准教授

所属…経営学部 経営学科
大学院 環境経営研究科 経営学専攻

■ **主な担当科目** 統計と調査法, 統計学入門, ミクロ経済学, 環境評価特論

■ **研究者略歴**

2008 (平成20) 年 3月	京都大学大学院経済学研究科博士後期課程修了
2008 (平成20) 年 4月	独立行政法人産業技術総合研究所産総研特別研究員
2012 (平成24) 年 4月	鳥取環境大学地域イノベーション研究センター講師
2014 (平成26) 年 4月	鳥取環境大学地域イノベーション研究センター准教授
2015 (平成27) 年 4月	公立鳥取環境大学経営学部准教授
2016 (平成28) 年 4月	公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科経営学専攻准教授

■ **取得学位** 京都大学博士 (経済学)

■ **専門分野** 環境経済評価, 社会工学

■ **現在の研究テーマ**

- ・ 持続可能性指標の開発
- ・ 持続可能な発展概念における動物福祉の位置付け
- ・ 動物倫理にもとづく生産・消費システム実現のための基礎的考察

■ **所属学会** 日本リスク研究学会, 進化経済学会, 経済理論学会, 環境情報科学センター, 環境科学会

■ **研究等活動**

【論文】

- ・ 「デカップリング指標は何を測定しているのか」、2015、『環境情報科学学術研究論文集』29
- ・ 「鳥取環境大学が地域におよぼす経済効果の推計」、2015、『鳥取環境大学紀要』13
- ・ 「ピブリオバトルによる域学連携の試み」、2014、『鳥取環境大学紀要』12
- ・ 「地域コミュニティ支援事業の費用便益分析：鳥取市を例に」、2013、『鳥取環境大学紀要』11
- ・ 「シフト・シェア分析を用いた二酸化炭素排出構造の要因分析」、2012、『環境情報科学学術研究論文集』26
- ・ 「ヘドニック・アプローチによる地域コミュニティの価値の貨幣評価-鳥取市を例に-」2012年、『TORCレポート』35
- ・ 「住民選好に基づいた地域コミュニティ支援政策の評価 -鳥取市によるまちづくり協議会への支援事業を対象として-」2012年、『TORCレポート』35
- ・ 「経済成長と二酸化炭素排出量削減は両立するか-デカップリング概念を用いた国際比較-」2010年、『経済論叢』184-2
- ・ 「デカップリング概念と要因分解の統合による持続可能性評価」2010年、『環境情報科学論文集』24
- ・ 「情報提供が人々の便益認知およびリスク認知に与える影響：ナノテクノロジー応用製品のケース」(共著・筆頭)、2010年、『日本リスク研究学会誌』20-3
- ・ 「ナノテクノロジー製品の受容に感情、信頼および知識の及ぼす影響」(共著・筆頭)、2009年、『日本リスク研究学会誌』19-4
- ・ 「自治体における環境と経済とのデカップリング状態の評価手法について」(共著・筆頭)、2009年、『環境情報科学論文集』23
- ・ "Comparative analysis on eco-efficiency of the local government" (共著・筆頭)、2008年、Proceedings of The 8th International conference on EcoBalance
- ・ 「家庭内の利他行動を考慮したヘドニック・アプローチ：理論と実証」2007年、『進化経済論集』11
- ・ 「ヘドニック・アプローチによる原子力事故の影響評価」2005年、『日本リスク研究学会講演論文集』18

【報告書】(過去3年以内)

- ・ 住民選好にもとづく鳥取県八頭町の地域交通体系への政策提言、2016年
- ・ 2014年ピブリオバトルin鳥取実施報告、2015年、『地域イノベーション研究』
- ・ 2013年ピブリオバトルin鳥取実施報告、2014年、『地域イノベーション研究』
- ・ 鳥取砂丘イリュージョン11の経済効果、2014年、『地域イノベーション研究』

【新聞寄稿】(直近)

- ・ 地域イノベーションは可能か、2016年、日本海新聞
- ・ 本当に偉大な田舎とは、2015年、日本海新聞

■ **社会貢献活動**

過去3年以内のもの

- ・ 2016年 鳥取西高校「思索と実現」講師
- ・ 2013年～現在 ピブリオバトルin鳥取の開催
- ・ 2015年～2016年 八頭町公共交通検討委員会委員
- ・ 2015年 鳥取県教育委員会指定管理候補者選定委員会 委員長
- ・ 2014年 鳥取県基幹的情報発信業務プロポーザル審査会審査委員